

奈良県教育委員会との連携協力が二層進む ― 連携協力に関する協議会を開催 ―

理事・副学長（教育担当）

重松 敬一

本学は平成19年2月6日（火）に「奈良県教育委員会と奈良県教育委員会との連携協力に関する協議会」を学内において開催しました。この協議会は、教員の資質向上を図るとともに、広く教育に関する諸課題に対応するため、相互に連携協力して実践的研究及び活動を行い、その成果を生かして双方の教育研究の充実や発展に寄与することを目的として、平成15年度に設置されたもので、今回で第5回目の開催となりました。

当日は、教育委員会から矢和多教育長をはじめ、教育次長、関係課長等10名、大学から柳澤学長、副学長、学長補佐、関係委員会委員長、関係課長等15名が出席しました。協議会では、①教職大学院について、②教員研修について、③教員養成のための目標資質能力基準に基づくカリキュラムの構築及び評価システムについて、④高大連携について、の主に4つのテーマについて本年度の取り組み状況が紹介され、今後の連携方法等について意見交換が行われました。

教職大学院は、平成20年度から制度として発足するもので、現在、中央教育審議会で設置基準の策定が行われており、本学も開設準備を進めているところであること。その特色に関しては、院生が修了時までに目指すいくつかの教師像（目標資質能力）を教員集団と相談・決定の上、履修するプログラムや教育課程を決めるこ

と。実現可能な項目について修了者にどのような力をつけるのかを約束として提示し、これをカリキュラムの中で、本学独自の授業科目として配していること。授業の実施形態は、「学校実践Ⅰ～Ⅳ」などにおいて、連携協力校（現職教員の場合は勤務校）で教員と院生が共にチームで取り組み、組織で取り組む教育力を体験する予定であること。開講時期は、不定期の集中形式となること。入学対象学生としては、学部からの進学者、現職教員及び教員免許を持たない学生を考えていること。本学に設置する教職大学院は、理論と実践の架橋として位置づけ、教育課題に実践指導力のある教員として向き合える教師の養成を考えていることなどが紹介されました。

教員研修については、平成18年度に奈良県教育委員会との共催実施となった「スクールリーダーのための学校経営研修」（写真1）について報告があり、教員研修における本学の支援の実績が紹介されるとともに、県内の国公私立大学等と奈良県教育研究所が連携して実施している「教職員のための夏の公開講座」について、本学が開設した3講座の実施報告と受講者アンケートが紹介されました。

教員養成のための目標資質能力基準に基づくカリキュラムの構築及び評価システムについて、本学では、学部において養成する教員としての目標資質能力を「カリキュラム・フレーム



ワーク」として構築中であること。現在7つの大きな枠組みを設定しており、この枠組みを学生、教員が共有した上、教員養成の結果につなげられるよう細部を検討していること。この取り組みは、平成19年度からの文部科学省の概算要求にも採択されており、3つのシステム（ティー

大学の取り組み

チングII教員がいかに身につけるか、ラーニングII学生がいかに学ぶか、パブリックコミュニケーションII外部の評価はコンピュータシステム上での構築をめざしていること。外部の評価に関わっては、是非とも奈良県教育委員会の協力をいただきたいこと。他の県でも、例えば、



写真1 学校経営研修で矢和多教育長の講義

福島大学で教員スタンダードの作成が教育委員会との協力で行われているように、本学としても、より望ましい教員像、教員の資質能力目標について奈良県教育委員会の意見をいただいで、システムの完成をめざしたいことなどが紹介されました。



写真2 融合理数事業に関する協定書調印式



写真3 平城高校教育コース
「絵本の読み聞かせ演習」
本学えほんのひろばで

高大連携に関して、「高大融合による理数科高校教員の養成プロジェクト」は、教育委員会の協力を得て平成18年度教員養成GPにも採択された理数離れへの対応を高校教員の養成の観点から目指すプロジェクトで、平成17年度から実施している義務教育教員養成を対象とした先導理数プログラムを高校段階に適用し、連携校と有機的な協力関係を保ち、継続的に行うプロジェクトであること。具体的には、一条高校及び奈良北高校と協定を結び、教育プログラムと高校授業展開の結合、相互の学びの連携による学力向上等に取り組んでいることが紹介されました。(写真2)

また、教育委員会からは県立高校の教育コースについて説明があり、その目的は、高校生に対するキャリア教育の推進と今後の教員需要を視野に入れて、高校生段階から小学校教員への意欲と資質をもつ人材の育成を行うことであること。県内では、平城高等学校及び高田高等学校において実施しており、近隣小学校と連携した活動や大学との連携による活動に取り組んでいることなどが紹介されました。(写真3)

その他、①特別支援教育研究センター(仮称)について、②学生ボランティアについて、③学校アドバイザーについて、④幼児教育について、⑤連携事業・共同研究について、⑥教員採用に関する今後の見通しについて、など本学及び教育委員会から多岐にわたる連携の取り組み状況について報告があり、意見交換が行われました。

最後に、教員をめざす学生及び現職教員の資質向上について相互に連携協力を押し進めることを確認し合い、協議会は盛況のうちに終了しました。